

成長戦略事務局チーム 金融庁・地域活性化統合事務局ヒアリング 概要

日 時:平成 22 年4月 30 日(金)13:00~13:40

場 所:内閣府本府3階特別会議室

出席者:古川元久・国家戦略室長、近藤洋介・経済産業大臣政務官
大塚耕平・内閣府副大臣

1. 古川国家戦略室長冒頭挨拶

忙中ご出席頂き、感謝申し上げます。

新成長戦略に、盛り込みたいとお考えの施策については、経済効果や雇用効果等を明示するとともに、費用対効果が明らかになるようにして頂きたい。

2. 大塚内閣府副大臣説明

○昨年 12 月 17 日のヒアリングで示した産業セクターの金融円滑化、金融セクターの産業化について、その後金融庁の諸施策の中で徐々に進めている。

○同様に地域活性化についても特区に係る取組を進めている。

○以下、本日のレジュメに沿って話を行う。

○金融機能の活性化について、現状約6~7割の預貸率をどのように向上させるかが課題である。韓国は預貸率が 100%を超えており、中国は日本がかつて行っていた窓口指導を行っている。金融に対してどのような姿勢で臨むかは一様でない。

○「貯蓄から投資へ」と言われて久しいが、日本では直接金融のウェイトがなかなか高まらない。引き続き「貯蓄から投資へ」ということを進めるための戦略を打つのか、我が国の直間比率構造の特徴を前提として戦略を打つのか、虚心坦懐な検討が必要である。

○金融再編については、かつて金融ビッグバンを行ったものの、日本の直間比率構造や産業としての金融の発展は必ずしも十分になしとげられなかったという結果と現状をどう考えるかということ踏まえて、再度チャレンジする必要がある。

○「B/Sに胎蔵されているリソースの活用」と記したが、金融機関が保有する大量の国

債を、負債と見るのか資産と見るのかで打つべき戦略が異なってくるという認識を共有させて頂きたい。国債を資産としてどのように活用していくのかは金融の成長戦略を考えるうえで大きなポイントのひとつである。

- また、「従来型の「官」、「民」概念からの脱却」と記した。本日郵政改革法案を閣議決定したが、既に株式会社化・民営化という大きな方向性は定まっている中で、後戻りをするということではない。しかし、相変わらず古典的な「官」「民」概念に基づいた定番の官業復帰批判などを受けるが、その固定観念の改革にも挑戦すべきだろう。民間金融機関やメガバンクに任せておけば、この国の金融面の成長戦略を実現しうるか。過去20年間の動きを見る限り、必ずしもそうとは言い切れない面がある。頭を柔軟に考えて考える必要がある。
- 「従来型の業態区分からの脱却」ということも指摘したい。政府系金融機関改革や郵政改革も、金融産業の発展、金融成長戦略の実現に向けた触媒となりうるという発想で物事を考えることが必要ではないか。
- 海外での邦銀による日本企業支援というのは、新興国の需要を取り込む上での企業活動や民間プロジェクトを支援するという。官民合同ファンドも必要。さらには、我が国の証券会社が、海外での企業上場の際に主幹事を取れないという現状がある。こうした点を含め、日本の金融機関の活動を国全体としてどのようにサポートしていくのかなど、オールジャパンで取り組むべき課題は多い。
- (別紙1)のとおり、今年の政投銀民営化の際に参議院附帯決議第4項を加えているが、その内容を踏まえ、これに取り組む必要がある。改正政投銀法の審議の際に、単に民営化すればよいのか、政投銀には別の役割もあるのではないかという議論が行われ、本項が加わった。
- (別紙1)左側の主要行から証券・生損保に至る現在の金融セクターをどのようにアレンジしていくのか。集まった資金の運用のあり方について、考え方と金融システムを整理をする必要がある。
- その際、民間セクターの創意工夫のポイントとして、アレンジャーの必要性、分野別金融再編等が挙げられる。また、国債レポ、例えば郵政の保有する国債を担保として企業に貸し出すといった新しい動きにもチャレンジしなくてはならない。先述の資産としての国債の活用のひとつである。

- そもそも、郵貯を含む民間金融機関は、利益をあげられる企業や産業にしか貸出出来ないのでは、そうした企業や産業を如何に育てるかということが重要。さらに、海外での日本企業支援に関しては、通商政策、政府系ファンドについても考えていかなければならない。
- ヒアリング事項について、口頭で回答する。
- 東京の国際金融拠点化について、12月に述べた金融・商品取引所の統合化もポイントであるが、先ほど述べた金融セクター全体のシャッフルも必要。また、金融産業に従事する外国人の国内活動や外国金融機関の拠点設営に係る制約除去も重要であり、これらを総合的にやることが大切であると考え。
- 金融資本市場整備については当然のことであり、金融庁で計画的に行っている。リーマンショック以降の金融サミット等における議論も踏まえ、さらに取り組んでいく。
- 金融産業の国際競争力強化について、縷々申し上げた枠組みや方向性の中でどう考え、どう取り組んでいくのか。郵政改革を巡る議論から垣間見える日本の金融産業の風景は、国内という「コップ」の中で相互にコンペティターを如何に不利な立場に置いておくかという狭い視野での経営戦略に腐心している姿だ。シナジー効果を追求しようという姿勢は感じられない。そういうマインドである限り、良いものは生まれてこない。政府が(別紙1)の左側(現在の金融産業の業態構造)を改革するインセンティブやモメンタムをつけないと、良いものは生まれてこないかもしれない。
- 日本の金融資産の成長分野への資金供給のあり方や成長戦略への取り組み方については、今までの話を総合すれば想像可能と思う。
- 同時に、金融のみならず、あらゆる分野において、我が国も明確な自己主張をして様々なルールメイクに能動的に関与していかなければならない状況になっている。通商交渉や経済交渉において、常に譲歩を迫られるという日本の体質を是正する必要がある。例えば、金融分野について言えば、日本の厳しい自己資本比率規制の国際議論がなされる一方で、米国はバーゼルⅡすら十分に導入していない。国際交渉におけるそうした点も、全体の成長戦略と無関係ではない。
- 規制・制度改革が時代に即して常に行われていれば、構造改革特区のような取り組みは本来必要ない。しかし、実際にはそうではないことから、全国的な規制改革の

ーディングケースとして構造改革特区という構想が始まった。ところが、前政権末期には、本来の姿とは異なる姿になってしまい、構造改革特区は特定の規制や制度のお目こぼしのような姿になっていた面がある。これを本来の姿に戻すために、既に粛々と取り組んで来ている。さらに、総合特区構想も進めている。例えば、医療のある規制を構造改革特区で改革しても、当該規制に係る医療行為についてのみ改革されるだけである。産業としての医療発展や地域医療の全体的な向上のために、オーバーオールな規制改革を行わなければならない場合があるという問題意識から総合特区という発想に至っている。

- 規制・制度改革について、全体としての見直しのプリンシパルを明確化していきたい。
- また、構造改革特区について、提案者が必ずしも納得した形で却下ということになっていないので、公開審査も必要な場合があると考えている。
- 総合特区について、実施主体が重要となる。従来のどぶろく特区の蔵元や自治体の単体としての申請ではなく、自治体や民間企業、その他の関係者が連携して実施主体をNPO等の形で創設することが想定される。また、寄付税制等の措置により資金・機材拠出を民間から引き出すことも可能と考えている。
- 特区の臨時受付で地方自治体から出て来た事項については全て認めるという位のチャレンジが必要である。

3. 質疑応答

- 金融について、考え方を示すだけで「検討する」、「促進する」ということでは成長戦略にそぐわない。具体的な施策をいつまでに何処までやるのかということまで落とし込んで頂きたい。(古川国家戦略室長)
- 地域活性化関係の特区については、「個性創出特区」と「地域活性化特区」を分ける必要はない。国家戦略としての総合特区については全国で数箇所と考えている。(古川国家戦略室長)
- 金融について、過剰規制・過剰審査を、例えば四半期報告、IPO審査、J-SOXについて、「見直しの検討」ではなく「見直す」として欲しい。今後も議論を深めさせて頂きたい。また、中小企業向け融資の第三者保証について、政府系と同様に民間銀行もせめて選択性とすべき。さらに、企業債務の本人保証の問題もある。(近藤経済産業

大臣政務官)

○なお、特区について、地域だけでなく機関特区という考えもありうる。(近藤経済産業大臣政務官)

○財界、経済界自身が政府に対して「成長戦略を示して欲しい」と言っていること自体が危機的な状況を示している面がある。政府は大きなストーリーを示すべきと思うが、財界、経済界自身がそれぞれの分野で具体的な成長戦略に練るのが本来の姿ではないか。そういう認識は、政府として財界や経済界に問いかけるべきである。また、成長、創意工夫、活性化を阻害する規制・制度等の改革等は政府自らが責任をもってなするミッションであるが、そうでないことについてコミットすることはかえって政府の成長戦略の信頼性を低める。例えば、「預貸率を向上させる」というような成長戦略目標は政府が直接コミットするものではなく、金融改革等の成果として結果的に実現する筋合いの事象だ。政府が自らの責任においてなすべきことと、そうではないことを峻別して取りまとめるべきである。(大塚内閣府副大臣)

以上